



抗血栓薬を見直そう!!

循環器内科 水見 彩子

あれ？これって
何の薬だったかな？



今回は血液をさらさらにする薬、抗血栓薬についてのお話です。

みなさんは自分がどんな薬を飲んでいるか、ご自身で理解されていますか？ もちろん必要がないのに飲んでいる薬はないと思いますが、特に抗血栓薬は飲んでいる理由が必ずあります。自分で理解しておくのと、急な病気で病院に行ったときや、何か処置を受けるときなどに聞かれることがあるので助かります。

抗血栓薬の2つの予防



抗血栓薬は文字通り、血栓を予防する薬なので、脳血管、冠動脈など主要な動脈に対する血栓を予防するという目的があります。

Before

病気を発症する前の予防

高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病や、喫煙歴がある場合は動脈硬化性疾患（脳卒中、心筋梗塞など）の発症リスクが高くなります。検査や症状などでその証拠があれば、予防的に抗血栓薬を内服することがあります。

After

既に発症した 病気の再発を防ぐための予防

心筋梗塞を発症して冠動脈にステントを入れる手術をした場合、バイアスピリンなどの薬を永続的に飲む必要があり、これはすでに発症した病気の再発を防ぐための予防といえます。高齢者に多くなる心房細動という不整脈がありますが、脳梗塞の原因となる不整脈であるため、必要であれば抗血栓薬の内服をします。



予防の薬なら、 みんな飲めばいいのでは？

予防という聞こえがいいのですが、抗血栓薬の副作用によって出血しやすくなることがあります。そのため、**出血リスクと、薬を飲むことで得られるベネフィット（恩恵）**を十分に考慮したうえで、**それぞれの患者さんに合わせて処方**することになります。リスクとベネフィットについては、これまでのさまざまな研究データや、学会などがまとめている治療のガイドラインが元になります。**「それぞれの患者さんに合わせて」**という点を強調しましたが、**これを見極めるのがかかりつけ医の大事な役目**であり、**しっかり安全に服薬できるか、転びやすくないかなど**の生活状況、家庭環境など各々に合わせての検討が必要なのです。

二つ以上の病気が重なるなどの理由で、抗血栓薬を2、3種類飲んでいる方もいると思います。その場合は内服の必要性、リスクとベネフィットの確認がより重要となります。



さらさらにする薬、飲んでいますか？
飲んでいる方はなぜ飲んでいるのか、何種類飲んでいるのか、わからない場合はぜひ主治医に確認しましょう。

